

月刊 小林のぶゆき

第1号
2011年1月発行号

見える
わかる
変わる
今こそ横須賀を
私たちのものに

新人35歳



発行人 小林伸行 小林のぶゆき 検索
住所 横須賀市野比2-13-18
☎ 070-6640-3927
FAX 050-3737-1652
✉ info@kobayashinobuyuki.com ↑
Web <http://kobayashinobuyuki.com>

1975年(昭和50年)9月3日生。妻と息子の3人家族。筑波大学卒。地域情報誌社勤務の後、環境コンサルティングに携わるが、地域の疲弊と日本の将来を憂い、政治を志す。2008年、政策秘書資格試験合格。衆議院議員長島一由(前逗子市長)公設秘書を経て現在に至る。地域通貨イタッパプロジェクト事務局長など市民活動にも関わる。

第一特集

ヨコスカ「給食白書」①

親御さんに負担軽減。子供に温かいご飯。完全給食は可能か？



第二特集

横須賀市に「市政リポーター」を送り込みませんか？

次回予告：横須賀家の家計簿、「給食白書」②(中学校給食編)をお伝えします。

第一特集 ヨコスカ「給食白書」①

親御さんに負担軽減。子供に温かいご飯。完全給食は可能か？



横須賀市は、給食に力を入れていない？

横須賀市の給食の現状をご存じですか？

私自身は、保育園も小学校も中学校も完全給食だったので、てっきりどこでもそうだと思っていましたが、実は市町村によって全然違うんですね。気になって横須賀の状況を調べてみました。すると、中学校では1校も給食がなく、保育園では1施設だけが完全給食(主食も出る)ということがわかりました。

市内の完全給食を実施する公立校(園)

	総数	実施	実施割合
中学校	24	0	0%
小学校	47	47	100%
保育園(3歳~)	11	1	9%

この1施設は、公設民営(市が設置して、民間業者が運営する方式)の田浦保育園でした。

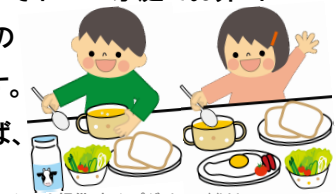
※2011年1月13日時点。市役所への電話取材による
※私立はそれぞれの方針があるので対象としていない
※保育園については、乳児(0~2歳)への完全給食提供は法令で定められているため対象としていない。
※幼児(3歳以上)もおかずやおやつは提供されるため、ここでは主食(ご飯・パン等)の有無の違い。
※中学校については、全校において牛乳の補助給食は実施されている

給食が、なぜいいのか？

私は、もし可能ならば給食はあったほうがいいと思います。特に共働きの家庭では、子供のお弁当を用意するのは大変です。わが家でも、息子が公立保育園にお世話になっていますが、妻が仕事に行く前に毎朝ご飯を炊いて詰めるのを見て感心しています(感心してないで手伝え、と叱られそうですが苦笑)。

また、何より子供に冷たいお弁当より温かい給食を食べさせてあげたいものです。それに、市役所の保育課の方も「最近夏が暑いのでお弁当は食中毒が心配」とおっしゃってました。衛生面でも安心感があります。

ついでに環境面やコスト面でも、それぞれのご家庭でお弁当を作るより、1箇所ですべて集約して大人数の分を作る給食は効率がいいと思います。また、市内の業者に給食を発注すれば、地域に雇用も生まれることでしょう。



イラスト提供：わんぱぐ <http://kids.wanpug.com/>

保育園の「給食白書」

保育園の給食について、さらに民間保育園も含めて近隣の市町村の状況を独自取材し、比べてみました。

すると、全体として横須賀市は他の市町村より完全給食の割合が少ないことがわかりました。また、他の市町村に聞くと「多くの施設が、希望者にだけ有料で主食を提供しているが、ほとんどの親御さんが希望する」「希望しない人なんて聞いたことない」といった声もありました。完全給食のニーズは高そうです。

	主食を提供する保育園(幼児)の数					
	公立			民間		
	総数	提供	割合	総数	提供	割合
横須賀市	11	1	9%	28	15	54%
三浦市	0	0	—	4	4	100%
鎌倉市	7	4	57%	10	9	90%
横浜市	100	48	48%	把握できていない	—	—
逗子市	2	0	0%	3	3	100%
葉山町	1	1	100%	1	1	100%

判断材料が出てこない!! ※2011年1月13日時点。各自自治体への取材による。
※基本的に認可保育園のみ、3歳以上の幼児のみ対象。

では、なぜ主食の提供をしていないのか？

市役所の方によると、①炊飯用設備などを導入するお金と設置スペースが必要、②追加作業分の人の手配等が必要、という主に2つの理由があるようです。そこで、民営化した田浦保育園では解消したはずなので、お金かどの位かかるのか尋ねたところ「わからない」とのこと。ついでに「民営化したら何%の経費削減効果があった、とか、公立より満足度が何%低かった、とか調べてますか？」と聞いたら、「現時点では調べる必要性を感じていない」との回答でした。これにはちょっとビックリです！民間企業の感覚なら、民営化が良かったのか悪かったのか当然調べると思います。私の感覚、変でしょうか？

予算がいくら必要で何が障壁かがわからないと、実施可能なのか無茶なのかもわかりせん。引き続き調査中なのでこのチラシで続報します。ぜひみなさまのご意見も教えて下さい。次号では、さらに驚きの中学校給食の現状を取り上げます。

第二特集 横須賀市に「市政リポーター」を送り込みませんか？



横須賀市の現状は伝わっていますか？

みなさんは、横須賀市のことがどのくらい見えていますか？
横須賀市の現状が、どのくらい伝わっているのでしょうか？
私も恥ずかしながら議員秘書の仕事をするまではあまり知らなかったのですが、実は課題がいっぱいだったんですね。

- 工場の移転や閉鎖が相次ぎ、地域経済も沈んでいること
 - 横須賀市の失業率は実に6.2%*1。「給料が低い」「仕事がきつい」と文句を言いたくても「他に仕事がない」こと
 - 高齢化率24.8%*2。4人に1人が高齢者で、神奈川県全体の5人に1人(19.8%)と比べても高いこと
 - 特別養護老人ホーム(特養)への入居は2~3年待ち。数百人が入りたくても入れないこと
 - 保育園の待機児童は153人*3。数字に表れない潜在的な待機児童はその数倍で、働きたいのに働けない方が多いこと
 - 全国では81.6%の公立中学校で給食が出る*4のに横須賀は0%であること
 - しかし横須賀市の財政は大変厳しく「自治体のエンゲル係数」経常収支比率は97.3%*5。食べていくのに精一杯で、おじいちゃんの介護や子供の保育・教育にまわせるおカネがないこと
 - 市議会議員の数が県内一般市町村で第1位であること*6
 - 横須賀ではいまだに山を切り崩して緑が失われていること
- *1:平成17年国勢調査結果報告。*2:2010年4月1日現在。老年人口(65歳以上)106,056人÷人口総数425,730人→24.77%。*3:2011年1月1日現在。*4:文部科学省の2009年度調査結果。*5:平成21年度決算。*6:2009年4月1日時点。

見えて、わかれば、変えられる。

これらは、どれも政治の課題です。政治が取り組まなければいけない仕事です。しかし、これまで大して変わらないまま放置されてきたように思います。

どうして、そんなことになっていたのでしょうか？

私は「見えなくて、わからなかったから、変えられなかった」
そう感じています。だから私は今回、「見える・わかる・変わる」という基本政策を掲げています。



- ①「見える」 まず、市政をガラス張りにしてみなさんに見えるようにします。
- ②「わかる」 横須賀市で、いま何が問題なのか。いま何が必要なのか、わかりやすくお伝えします。
- ③「変わる」 現状が見えて、問題がわかれば、変えられます。私たちが払った税金を、私たちが本当に必要なことに使われるように、私たち自身が変わられるんです。

「市政リポーター」を、提案します。

しかし、これまで通りの政治家がこれまで通りの仕事を続けても、何も変わりません。それに本来は、市民の代表である市議会議員が、もっと市民に現状を伝える努力をするべきです。

そこで、私は自分が立ち上がろうと考えました。私は、これまで主に編集やライターの仕事をしてきました。なので、人にわかりやすくモノゴトをお伝えするのは得意なほうだと思います。また、政策秘書の資格も持ち、衆議院議員の事務所やコンサルティング会社でも働いてきたので、行政に関する調査にも慣れてしています。

ですから、「小林のぶゆきを『市政リポーター』として横須賀市に送り込んでみませんか？」というのが私の提案なんです。

私たちが横須賀を変えてみませんか？

- 私は、2つのことをお約束します。
- みなさんの代理人として、横須賀市の課題や解決策を徹底取材します
 - 毎月欠かさず、このチラシで、みなさんに取材結果と提案状況をレポートします
- 「横須賀を変えようじゃないか」。そう思った方は、どうぞ私を使ってみてください。「別に今までどおりでいいよ」。そう思う方は他の方に託してください。選ぶのは、みなさんです。



小林のぶゆきの横顔

趣味 家族バンド。毎週のように久里浜の音楽スタジオで練習してます。Vocal.息子、Drums妻、Bass私、Guitar募集中です(笑)。現在の課題曲は、横須賀にちなんでクレイジーケンバンドの『タイガー&ドラゴン』。



- 著書**
- 『未来をスケッチ Vision 2020』 (共著。麗澤大学出版会2006/12。法政大学「イノベティブ・ポリシー賞」受賞)
 - 『会社員のためのCSR経営入門』 (編集協力。第一法規株式会社2008/09)



エコなこと 以前、環境系の仕事をしていたので、自分でもやってみたくて色々なエコしてます。



応援してください！

- チラシのポスティング
 - 駅でのチラシ手配り
 - 事務作業
 - ご自宅への看板設置
- 常時、様々な手が必要です。「応援してあげてもいいよ」と思って下さった方は、お気軽にご連絡下さい。
- ※政治献金・寄付は頂いていません。

小林のぶゆきの基本政策

- 見える** 誰が何をどう決めているのかぜんぜん見えない……。市政をガラス張りにして「見える化」し、意思決定の過程も含め情報公開を進めます。
 - わかる** 難しい説明をされてもよくわからない……。いま何が問題なのか。いま何が必要なのか。チラシなどを通してわかりやすくお伝えします。
 - 変わる** これまで何も変わらなかった。どうせ変わらない……。現状が見え、問題がわかれば、変えられます。私たちが払った税金が、私たちに本当に必要なことに使われるよう、変えていきます。
- 今こそ横須賀を 私たちのものに。

横須賀市政について、私の活動について、みなさまのご意見、ご提案、ご感想、疑問などお寄せください。
必ず私、小林伸行が自分で目を通します！



E-mail: info@kobayashinobuyuki.com Fax: 050-3737-1652